

取扱いの趣旨

歯科衛生実地指導料は、歯科疾患に罹患している患者であって、歯科衛生士による実地指導が必要なものに算定できるものであり、う蝕の発生抑制のための指導を行う場合があることから、「ダツリ、C」でう蝕処置と再装着のみで治療が終了する場合の算定は原則として認められる。

支払基金が公表している取扱いの全文

【医学管理等】

《令和2年9月28日》

12 歯科衛生実地指導料③

○ 取扱い

原則として、「ダツリ、C」病名で、う蝕処置と再装着のみで治療が終了する場合の歯科衛生実地指導料の算定を認める。

○ 取扱いを定めた理由

歯科衛生実地指導料は、歯科疾患に罹患している患者であって、歯科衛生士による実地指導が必要なものに対して算定できるものであり、う蝕処置を行い、再装着のみの処置であっても、う蝕の発生抑制のための指導を行うことは歯科医学的にもあり得ることから、算定は認められる。

グラフの見方

1 棒グラフ（該当レセプトの審査結果）

歯科衛生実地指導料を算定しているレセプト1万件当たり、条件（同一歯のダツリ、Cに対してう蝕処置と再装着のみで歯科衛生実地指導料を算定）に該当するレセプト件数

2 折れ線グラフ

該当レセプトのうち、歯科衛生実地指導料が査定・返戻となった割合

【棒グラフ凡例】 審査の結果

請求どおり			: 取扱いどおり
査定 審査委員	査定 職員契機	返戻	: 検証が必要

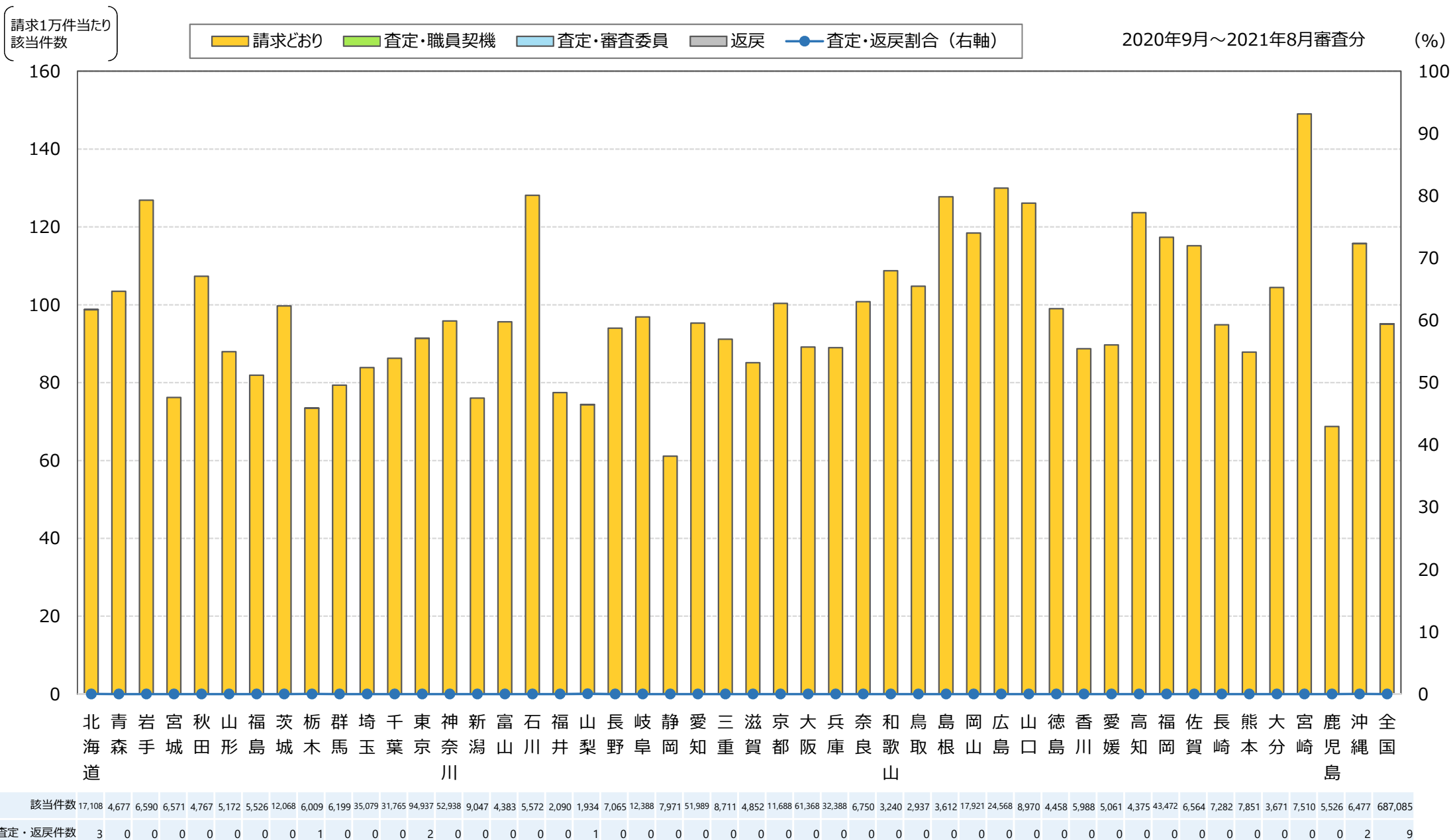
審査結果の概要

- 全国の査定・返戻割合 0.001%
- 検証を必要とする支部 5支部

検証観点	特に検証を要する支部	備考
査定・返戻割合が高い支部	山梨、沖縄、北海道、栃木、東京	査定・返戻割合の高い順
査定・職員契機	山梨	対象1万件当たり査定件数の多い順
査定・審査委員	沖縄、栃木、北海道	〃
返戻	北海道	対象1万件当たり返戻件数の多い順
該当件数（全国）	同一歯のダツリ、Cに対してう蝕処置と再装着のみで歯科衛生実地指導料を算定	687,085件
取扱いに基づく審査	請求どおり	687,076件
検証を必要とする審査	査定・返戻の計	9件

事例12 「ダツリ、C」に対する歯科衛生実地指導料の取扱い

【認める事例】



【該当件数】 同一歯のダツリ、Cに対してう蝕処置と再装着のみで歯科衛生実地指導料を算定しているレセプト件数